

「健康」は投資のキーワード！？

ファイナンシャル・プランナー 加藤梨里

暑さが厳しかったこの夏は、アフター5に美味しいビールを連日楽しんだ方も多かったのではないのでしょうか。ビール業界は今夏、猛暑を追い風に順調に売り上げを伸ばしたようですが、中でも特に好調だったのがノンアルコールのビール風味飲料。アルコールに加えてカロリーや糖質もゼロに抑えた商品は、健康志向の消費者からの需要が伸び、一部のビールメーカーでは生産が追い付かず、販売を一時中止するほどの勢いでした。

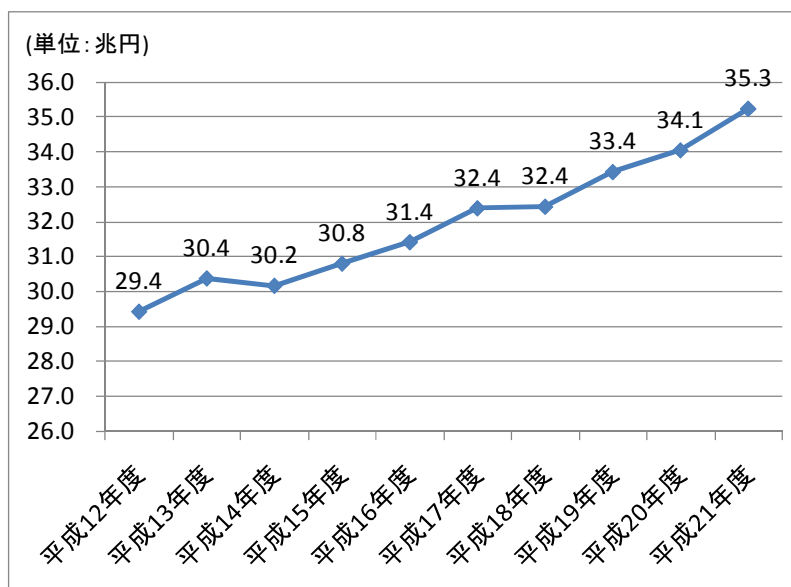
このように「健康」は今、企業にとってビジネスチャンスのキーワードになっているといえますが、これからは個人投資家の銘柄選びでもポイントになるかもしれません。そこで今回は、健康関連産業への投資について解説します。

■国を挙げての健康ブーム

健康関連ビジネスは、消費者に広がる健康ブームに加えて、国家的な支援という大きな強みを持つことから、今後の高い成長が期待されています。

今年6月に発表された政府の新成長戦略の1つには、「健康大国戦略」が掲げられました。これは、医療・介護・健康関連サービス産業を日本の成長けん引産業と位置づけ、2020年までに新規市場50兆円と新規雇用284万人の創出を目標に、産業振興を推進するという経済成長戦略です。

政府がこれほど大規模な目標を掲げているのは、高齢化の進行とともに医療へのニーズが急速に高まっているからです。医療費の金額はこの10年間で毎年ほぼ2%から3%ずつ増加してきましたが、2009年度の増加率は過去最大の3.5%を記録しました。このままでは、現在の医療施設の数やシステムのレベルでは、増加し続ける患者に対応しきれなくなるといわれています。そこで、特に不足が懸念されている介護施設の開設や運営、医療機関のシステムの効率化といった医療周辺事業において、民間企業の進出が盛んになってきています。図：概算医療費の推移（出所：厚生労働省「医療費の動向」2009年度より筆者作成）



■医療・健康ビジネスに投資するには？

医療関連ビジネスは、医療機関の中だけでなく私たちの身近なところにも広がっています。病気を予防して患者数を減らす効果があるとして、疾病予防・管理サービス、健康食品、健康機器、健康リテラシー教育、癒し、温泉、フィットネス関連などの健康産業が拡大しています。

こうしてみると、一言で「医療・健康ビジネス」といっても、その範囲は以上に幅広いことがわかります。ですから、「医療」や「健康」に注目しても、個人投資家が個別の企業を選んで投資をするのは少しハードルが高いかもしれません。

そんなときには、**投資信託**を通して健康・医療ビジネスに広く投資することができます。

たとえば、ニッセイアセットマネジメントが設定・運用する「ニッセイ健康応援ファンド」は、健康増進、医療、福祉、介護などを展開する国内企業の株式を運用対象にしています。2010年7月末時点では、医薬品メー

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

カーの武田薬品、アステラス製薬、大正製薬、エーザイ、ツムラ、ロート製薬のほか、医療機器メーカーの富士フィルムホールディングス、オムロン、テルモや、介護サービスのニチイ学館などを組み入れています。このほか、健康食品や医療保険、流通関連銘柄も対象としているところが特徴的です。

医療・健康ビジネスは、世界でも飛躍的な成長が期待されています。欧米諸国では日本と同様に高齢化が進行しており、医療ニーズが高まっています。そこで、医薬品メーカーの多くが新薬の開発フィールドとして中国やイスラエル、東南アジアなどに進出した結果、新興国でも医療関連企業が急成長しています。

こうした世界中の医療・健康関連企業の株式に幅広く投資しているのが、日興アセットマネジメントが設定・運用する「日興ロックフェラー医療戦略ファンド」です。

本ファンドは今年7月30日に設定されたばかりで、運用レポートがまだ発行されていないため、具体的な投資対象銘柄は公表されていませんが、アメリカを中心にスイスやフランス、ドイツなどのヨーロッパ諸国から、日本や新興国に至るまで、世界中の企業を組み入れる予定になっています。遺伝子工学に基づいた「テーラーメイド医療」や生物の人工臓器を作り出す「再生医療」など、バイオテクノロジー産業も網羅しているところが特徴的です。

	日興ロックフェラー医療戦略ファンド	ニッセイ健康応援ファンド
分類	追加型投信/内外/株式	追加型投信/国内/株式
設定日	2010/7/30	2008/4/25
償還日	2020/7/31	無期限
基準価額(2010年8月20日)	9,817 円	8,346 円
純資産	9,584 百万円	14 百万円
最小買付け単位	100,000 口	10,000 口
買付け単位	1 口	1 口
購入時手数料率(税込)	3.15%	3.15%
信託報酬及び監査報酬(税込)	2.09%	1.57%
最低申込金額	100,000 円	10,000 円
投資対象産業	医薬品、医療用機器、医療サービス、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、医療関連施設など	医薬品、医療用機器、医療サービス、システム、医療関連施設、健康食品、機能性化粧品、健康用品・サービス、介護、福祉用具・サービス、第3分野保険、流通など
委託会社	日興アセットマネジメント	ニッセイアセットマネジメント
受託会社	住友信託銀行	野村信託銀行
販売会社	日興コーディアル証券	楽天証券、SBI証券、三菱UFJ信託銀行など

■「医療・健康」への投資は中長期的に！

2010年8月20日現在、残念ながら上記のファンドはいずれも、世界的な株安の影響を受けて設定時の基準価額を下回っています。また、アクティブ運用を投資方針としているため、諸手数料の水準も高めです。ですから、短期間の売買で大きなリターンを得るのは難しいと思われますが、長期的な運用によってまとまった収益を期待したいところです。

これから医療・健康ビジネスがさらに成長し、私たちの暮らしがより健やかで快適なものになるとともに、私たちの資産も大きく成長してくれば良いものですね。

※本コラムは情報提供のみを目的としています。投資勧誘を目的としているものではありませんので、投資に関する最終決定はご自身の判断にてお願いいたします。掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、サイト内情報を利用した結果に対しての責任は負いかねます。

※上記で紹介している投資信託は主に株式を実質的な投資対象としますので、価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク、為替変動リスク、カントリーリスクなどの要因により基準価額が変動します。基準価額の下落により損失を被ることもありますので、ご購入の際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、内容をご確認の上ご自身でご判断ください。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2010 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.